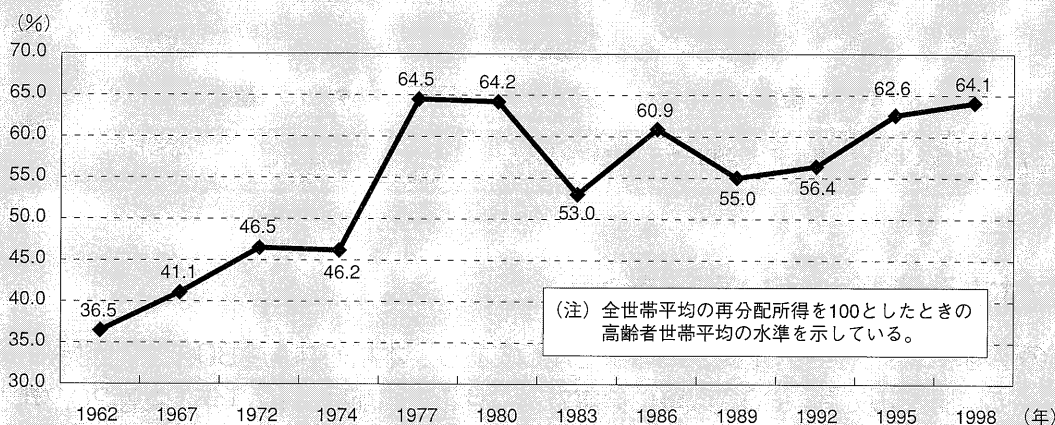


<相対的に改善している高齢者の経済状況>

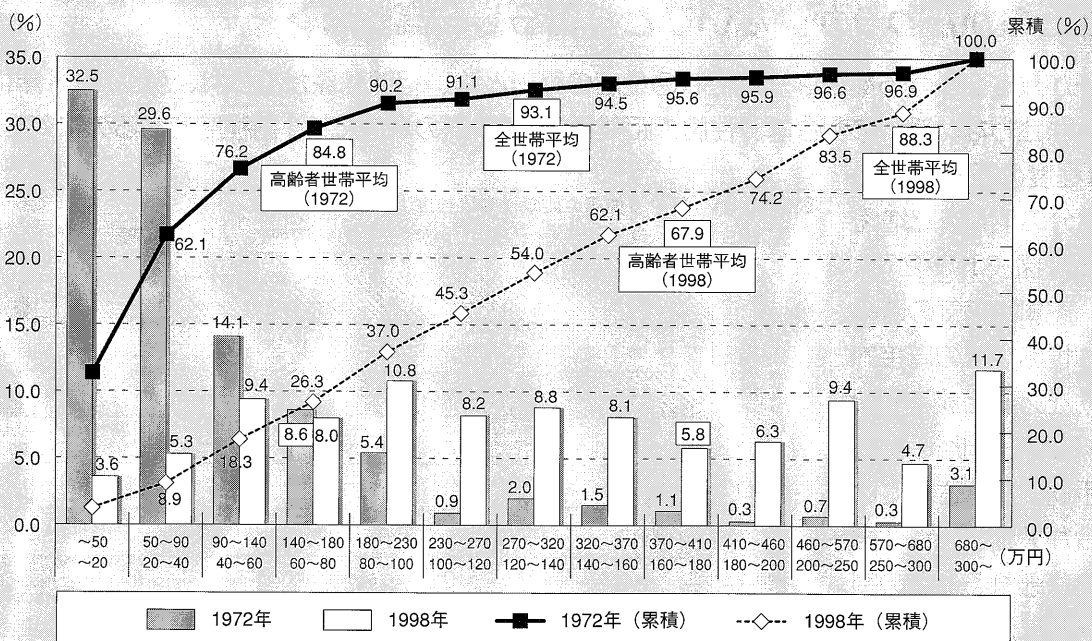
- 高齢者世帯と全世帯との再分配所得の格差は改善されてきている（図表1-1-10：1998（平成10）年には高齢者世帯平均所得は全世帯平均所得の約64%）。また、再分配所得の分布状況を見ると、1998年には、高齢者世帯は対応する各所得層におおむね均等に分布するようになってきている（図表1-1-11）。
- 各世帯の生活意識についてみると、暮らしの状況が苦しいと感じている世帯の割合はこの10年間で全体的に増えており、最近の厳しい経済情勢を反映しているものと思われる中であって、高齢者世帯については暮らしの状況が苦しいと感じている世帯の割合が他の世帯に比べて小さく（図表1-1-13）、また、その増加幅も小さい。

図表1-1-10 高齢者世帯と全世帯との再分配所得の格差



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室「所得再分配調査」

図表1-1-11 高齢者世帯の再分配所得の分布状況



資料：厚生労働省政策統括官付政策評価官室「所得再分配調査」から同室作成

(注) 所得階層の区分は、1972年の区分を基にして、1972年（下目盛り）と1998年（上目盛り）との高齢者世帯の当初所得の平均の差（2.28倍）で調整している。